

地域おこし人サミット 2019

主催:未来を創る財団 後援:Wedge

2019/6/29 (土) 13:30~6/30 (日) 15:00 全国町村会館



13:15 開会。未来を創る財団國松孝次会長は「昨年、大変ご好評をいただいたので、第2回サミットを催しました。昨年にも増して多くの達人にご参集いただき、感謝申し上げます。」と挨拶。



会長挨拶

昨年開いたこのサミットでご好評をいただき、再び Wedge のご賛同を得て、第 2 回開催の運びとなりました。

各地域でご活躍されている地域おこし人の面々が一同に会する年に 1 回の機会です。

地域の活性化を通じて日本社会が活力をとり戻し、次世代に明るい未来を伝える一助となることを祈念しています。

6/29(土)6/30(日)の2日間、110 名方がたにご参加いただきました。

分科会1 13:30~15:00(ホール B)「行列ができる相談所が地域ビジネスを活性化する」
コメンテーター:松山真之介(熊本県人吉市 hit-Bis) 池内精彦(広島県福山市フクビズ) 隅田徹(徳島県神山町えんがわ) 鶴尾雅隆(日本ファンドレイジング協会) F:磯山友幸





分科会2 13:30~15:00(第1会議室)「動物とヒトとの協同で地域活性化を実現する」
コメンテーター:相馬行胤(福島県相馬藩 34 代目) 船橋慶延(岩手県八幡平ジオファーム) 實
取義洋(熊本県菊池市實取耕房) F:水代優



分科会3 16:00~17:30(ホール B)「廃校活用から始まる地域と都会の新たな交流」
コメンテーター:尾畑留美子(新潟県佐渡尾畑酒造) 五月女圭一(ゲイト CEO) 田中洋之(福
岡めんべい社長) F:水代優



分科会4 16:00~17:30(第1会議室)「公民館という場づくりから地域を繋ぎなおしていく」
コメンテーター:河内ひとみ(広島県大竹市玖波公民館) 伊藤大貴・志賀久美子(横浜市 753)
江角悠太(三重県志摩市民病院院長) 中村慎弥(鹿児島県霧島市中村酒造) F:イノウエヨシ
オ



～ コーヒーブレイク ～



… 懇親会 …

(ホール A)18:00～20:30



後援の Wedge 塩川編集長から懇親会のご挨拶。
のぞみ号の開業にあたり、グリーン車の乗客をターゲットに硬派の
経済誌が開発された歴史も紹介。セッションで、取材のテーマもつ
ぎつぎ発掘したと披露。地域おこしと Wedge は相性がいい。

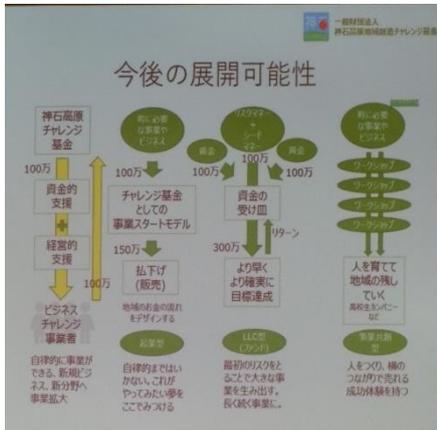


6月30日(日)

分科会 5 10:00~11:30(ホール A) 「令和時代の新しい「志」金循環カタログ」

コメンテーター:水谷衣里(世田谷コミュニティ財団) 保田隆明(神戸大学院准教授) イノウエヨシオ(神石高原チャレンジ基金) F:イノウエヨシオ

神石高原チャレンジ基金の事例
を使った「志」金循環カタログ



分科会 6 10:00~11:30(ホール B) 「道の駅 2.0 の新たな挑戦」

コメンテーター:畦地履正(高知県四万十ドラマ) 森本健次(京都府南山城村道の駅) 備後克則(石川県羽咋市道の駅) F:畦地履正



全体セッション 13:00~15:00 入江嘉則(神石高原町長)
工藤剛(大館市観光課長) 齋藤郁弥(仙北市地方創生・総合戦略室主事)



「神石高原町長ほか自治体首長による講演」入江嘉則(神石高原町長)

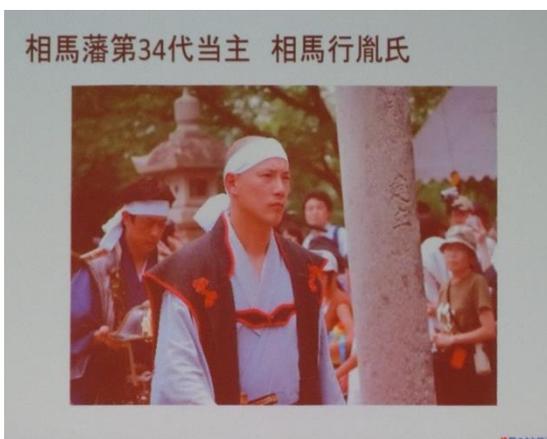
入江嘉則神石高原町長

分科会2と5に登場した神石高原町



福島県相馬藩 34代当主は広島県神石高原町民

神石高原町はこんなところにある



勿論、各セッションに参加し大いに弁舌をふるった

つぎは秋田県大館市工藤観光課長(右) 仙北市齋藤総合戦略室主事(左)の出番



まず工藤課長



大館は秋田犬だけではない、きりたんぼ、比内地鶏、曲げわっぱ、秋田犬のルーツはマタギの里

地域おこし協力隊として活躍した齋藤主事



神秘的な田沢湖、秘湯乳頭温泉郷、大地の息吹玉川温泉。
全国に先駆けて、公道での自動走行にもチャレンジしている。
函館をいれて、仙北市角館、大館市で3タテを結んで地域連携もある。
サミット実行委員会事務局長から秋田県北部での「地域サミット」の呼びかけもある。



全体セッション 13:00～15:00

「地域おこし人の条件とは」 F:磯山友幸座長



自治体との関わりが長い全国町村会武居事務総長（右）が特別参加され、3市町村のプレゼンテーションに感想と、市より大きい町村もある、平成の市町村合併の特例もあり、市町村とその地域のサイズは一様ではないと解説。



コメンテーターから総括意見



論客ぞろい、各セッションの議論を誘導した。

達人のノウハウを引きだし、交流、共有させる達人の面々 ~おつかれさまでした~

座長とファシリテーター

座長・1 ファシリテーター:磯山友幸



4・5 ファシリテーター:イノウエヨシオ



6 ファシリテーター:畦地履正



2 3 ファシリテーター:水代 優

オーディエンス



オーディエンスの真剣な議論と眼差しが印象的でした。

印象的といえば、三重県志摩市民病院江角悠太院長。病院から地域おこしを行う総合医が必要と。医師1人、赴任5年で、5億円の赤字を解消。今、病院が町おこしの中心になっている。人類60億人を幸せにするのが人生の目標！

閉会の辞

未来を創る財団石坂代表理事から

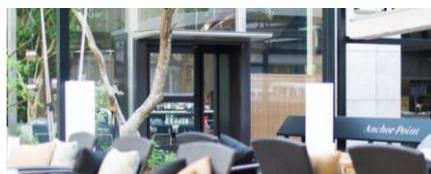


皆様のご協力で、昨年にも増して多くのキーパーソンにご参加いただき、あつく感謝申し上げます。

この場での交流、新たな発見、お互いの情報交換、友情、さまざまなものをお持ち帰りいただくことと思います。

地域おこし人名鑑もご活用いただいて、さらなる地域おこしに、皆さんで手を携えて邁進いただくようお願い申し上げます。

おーっと、まだ終わっていません・・・
いざ「交流会」アンカーポイントへ！





地域おこし人名鑑



来年はさらに多くの方がたのエントリーをおまちしています

また、お会いしましょう



ご意見、ご提案は；
未来を創る財団
事務局 abrighterfuture@theoutlook-foundation.org
事務局長 麻植 茂（おえしげる）
ご参加、ありがとうございました。

未来を創る財団へのご声援は みらい 『ミレニアム倶楽部』へ
【口座：三菱東京 UFJ 銀行青山通支店 普通預金 0214497 未来を創る財団】

<追補>

セッションに参加された東京学芸大学附属国際中等教育学校の生徒さんからの投稿です。国際中学校の皆さん、ご参加ありがとうございました。

感想文：

ボランティア部でもそうですが、私は身近な国内の、地域の課題解決より海外の国際支援の方に目を向けて活動してきました。しかしやはり地域にも目を向けたい、新しい知識を身に付けたいと思いこの地域おこし人サミットに参加しようと思いました。参加した上での率直な感想は、難しい！です笑

みなさん経営者として、ビジネスとして地域おこしをなさっていて、物流について、雇用の給料についてなど、社会人にしかわからない世界の話が多くありました。しかし、確実にわかったのはみなさんビジネスとして活動しているにも関わらず「生産性」などより「喜び」を大事にして活動している、ということです。

100%佐渡産のお酒「真野鶴」を作る酒造会社を営んでいる尾畑さんがおっしゃっていたことですが、みなさんのやっていることは一般の経営者から見たら非効率的と言えます。しかし、安く効率的に大量生産しても喜ぶのは誰でしょう？

この言葉を聞いて私は感銘を受けました。本当にその通りだと思いました。今の社会では「ビジネス」と聞くと生産性や効率、結果を重視してしまいがちですがそうじゃない社会に変えていきたい、と思いました。

また、尾畑さんがおっしゃっていたことですが「『地域』と『都会』として捉えるのではなく『世界でたった1つの場所』として捉えることが大事」というお言葉にも感心しました。

私が行っている海外での国際協力においても、その場所の課題をただ解決するだけでなく魅力を生かすことが大事なのだと感じ、何か自分の活動においてできることはないか考えを巡らせているところです。

この地域おこし人サミット2019に参加し、新しい視点や考え方を知ることができ、とてもためとなった時間でした。地域おこし達人の皆様とのお縁とお聞きできたお話を大切に、これからの活動に生かしていきたいです。

またもう1つ、地域おこしとは少し離れますが、日本ファンドレイジング協会の鵜尾さんの社会的投資、ソーシャル・インパクト・ボンドの話がとても印象に残っています。現在日本では、医療面でこのソーシャル・インパクト・ボンドが行われていて、医療機関等に投資し、入院患者が減った分削減できたコストを資金提供者に返す、という仕組みになっています。休憩時間中にも歯科の面でソーシャル・インパクト・ボンドの事業を行っている方からお話をお聞きすることもできました。このような事業があることを初めて知り、とても感心しました。こんな素晴らしい仕組みがあるのになぜほとんどの人は活用しないのだろう？と思い、鵜尾にお聞きしたところ、予算が減ることになり、それは「仕事が少ない」という印象になり、特に自治体からしたら微妙な感情であるから、と聞きました。なるほど、と思い、私は個人的に何かこのソーシャル・インパクト・ボンドと関連した活動をしてみたいと強く思いました。